

より精度の高い子宮頸がん検診のために

HPV検査のご案内

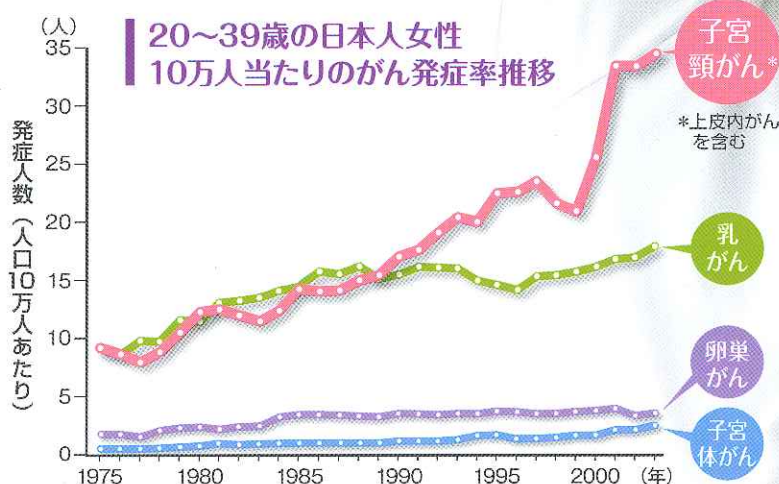
液状処理細胞診 (LBC) 採取液を用いたPCR法

今、若い女性に子宮頸がんが急増しています。

定期的な検診で予防しましょう

子宮頸がんは定期的に検診を受けていれば、がんになる前の段階（異形成）で発見することができます。この異形成の段階で治療を行えば、子宮を摘出することなく完治できるので、その後の妊娠や出産にもほとんど影響はありません。

つまり、子宮頸がんは“自分自身で防ぐことができる病気”なのです。



▲国立がんセンターがん対策情報センター 人口動態統計 (厚生労働大臣官房統計情報部)

公益財団法人 兵庫県予防医学協会

健康ライフプラザ

HPV検査のご案内



「細胞診」と「HPV検査」を併用することで、発見率が向上します。



子宮頸がんはHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が原因であることが解明されています。感染しても多くの人は免疫力で排除されますが、その中のおよそ10%の人が排除できずに持続感染します。これが子宮頸部の細胞に異型性（前がん病変）を引き起こし、子宮頸がんに進行します。

特に高リスク型と称されるHPVは、子宮扁平上皮がんを高率に検出されています。最近では20代・30代の

女性にこの子宮頸がんが急増しています。

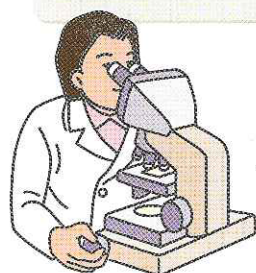
これまでの子宮頸がんの検査は、子宮がん細胞診だけに頼らざるを得ませんでした。近年、子宮頸がん検査としてHPV検査を加える方法が広まりつつあります。従来の子宮がん細胞診にHPV検査を併用することで、細胞の異型性を含め、子宮頸がんの発見率を上げることが可能となります。

HPVに感染していたら？

HPVに感染していない場合、子宮頸がんになる可能性は極めて低いと言えますが、感染している場合は、たとえ今回の子宮頸がん細胞診の結果に異常がなくても定期的に検診を受診し、経過を観察していくことが重要です。

どうやって検査するの？

事前にお申し込みいただければ、検診時に採取した細胞の一部をそのまま使用して検査しますので、別途細胞を採取したり、検診時間が長引くこともありません。



健康ライフプラザでは、子宮頸がん検診でHPV検査を受けることができます。ご希望の際は、ご連絡ください。



細胞診 + HPV検査 結果の判定

検査結果		今後の方針
細胞診	HPV検査	
正常	陰性(-)	定期検診
正常	陽性(+)	12ヶ月後に次回検診
境界域	陰性(-)	12ヶ月後に細胞診再検
境界域	陽性(+)	コルポ診等による精密検査
陽性	陰性(-) 陽性(+)	コルポ診等による精密検査

お問い合わせ・
お申し込みは
下記まで

- ◆ 検査名：「HPV検査」
- ◆ 対象者：子宮頸がん検診を受診される方（HPV検査のみは不可）
- ◆ 料金：5,500円（税込）

注：国や地方自治体が発行する子宮がん検診制度を利用される場合、検査方法の違いによりお申し込みできない場合があります。

公益財団法人 兵庫県予防医学協会 **健康ライフプラザ**

〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通5丁目1-2-300号 TEL:078-652-5207 FAX:078-652-5211